

# 令和7年度「全国体力・運動能力、運動習慣等調査」結果検証

## 学校の概要

|         |    |     |     |
|---------|----|-----|-----|
| 大阪市立丸山小 | 学校 | 児童数 | 89人 |
|---------|----|-----|-----|

### 平均値

| 5年生 | 握力    | 上体起こし | 長座体前屈 | 反復横とび | 20m<br>シャトルラン | 50m走 | 立ち幅とび  | ソフトボール<br>投げ | 体力合計点 |
|-----|-------|-------|-------|-------|---------------|------|--------|--------------|-------|
| 男子  | 15.08 | 18.79 | 28.13 | 38.55 | 44.84         | 9.57 | 156.00 | 18.57        | 50.00 |
| 大阪市 | 15.70 | 19.17 | 33.01 | 38.63 | 45.42         | 9.52 | 148.43 | 20.76        | 51.54 |
| 全国  | 15.96 | 19.46 | 33.88 | 40.89 | 47.94         | 9.46 | 150.93 | 21.06        | 53.02 |
| 女子  | 14.95 | 18.11 | 35.82 | 36.72 | 40.32         | 9.47 | 152.51 | 13.73        | 55.00 |
| 大阪市 | 15.40 | 18.33 | 37.58 | 36.86 | 35.15         | 9.83 | 139.41 | 12.67        | 52.58 |
| 全国  | 15.61 | 18.36 | 38.15 | 38.70 | 36.85         | 9.77 | 142.34 | 13.11        | 53.97 |

### 結果の概要

立ち幅とびでは、男女ともに全国平均、大阪市平均より大きく上回っている。反対に、長座体前屈では男女ともに大きく下回っており、男子は5cm以上の差が見られる。男子は20mシャトルラン、ソフトボール投げでも大きく下回り、その他の種目も若干下回っている。女子は、20mシャトルラン、50m走が全国平均、大阪市平均より上回っており、反対に、その他の種目では若干下回っている。

体力合計点については、女子が全国平均より約1ポイント、大阪市平均より約2.5ポイント上回り、男子は全国平均より約3ポイント、大阪市平均より約1.5ポイント下回る結果となった。

### これまでの取組の成果と今後取り組むべき課題

今年度の全国体力・運動能力、運動習慣等の調査における「1週間の総運動時間」を問う質問項目で、60分未満と答える児童は、男子15.8%（全国9.8%、大阪市11.7%）、女子25.0%（全国17.3%、大阪市20.0%）である。全国や大阪市と比べると、男子が約4～6%、女子が5～7%多い結果がみられる。本校5年生の特徴は、学校の体育以外で1週間に運動する時間が60分未満の子どもの割合が男女ともに多く、運動が好きで習慣化している子どもと、運動が苦手が進んで運動しない子どもとの二極化が表れている。

体力合計点についても同様で、男子が全国平均値53.2に対し50.00（大阪市51.54）と、体力合計点下位層の子どもの割合が大きく表れている。一方、女子は全国平均値55.00に対し53.97（大阪市52.58）と、健闘している。これは、女子の20mシャトルラン、50m走、立ち幅とび、ソフトボール投げの種目において体力合計点上位層の割合が高かったことが要因である。

また、「運動やスポーツをすることは好きですか」の質問項目においての肯定的な回答は、男子が97.4%（全国93.4%、大阪市92.5%）、女子は82.2%（全国85.8%、大阪市85.0%）である。男子は運動が苦手な子どもも「運動やスポーツをすることは好き」と回答する割合が高く、運動嫌いになってはいない子どもが多い。女子は一定の運動嫌いはいるが、全国、大阪市平均と比べるとそこまで大差はない。

本校では、各学年の体育科学習に加えて「縄跳び週間」「かけ足週間」などの体力づくりに学校全体で取り組む雰囲気をつくり、運動が苦手な子どもの意欲を高めながら、無理せず続けられるよう取り組んでいる。上記の結果を重ね合わせると、これらの取り組みが、無理なく楽しみながら運動を楽しむ意識につながっていると考える。反面、運動の大切さや自らの健康を考えて継続して運動しようとする意識や運動に必要な基礎体力を育むことが課題である。今後の体育科学習および全校での取り組みにおいては、子ども自らが、或いは、友達と一緒に体を動かす楽しさや喜びを味わい、生涯において主体的に運動と関わろうとする意識や基礎体力を引き続き培っていきたい。